

ぶっぶっ

発行日：2015年6月

発行所：St.Barnabas Maternity Center

住所：Magahaan Resettlement Manganayaca,
Subic Zambales, Philippines

E-mail：cfp.barnabas@gmail.com

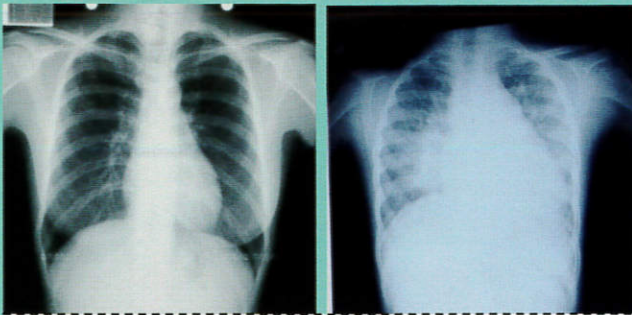
発行者：特定非営利活動法人 NEKKO

電話：国際通話—63-918-918-1752



動脈管開存症のダニエラちゃん、手術が成功しました！ ～手術してわかったこと、それは奇跡的な強運でした。～

昨年の12月16日、ついにダニエラちゃんの心臓手術が行われました。これまでの紆余曲折、様々な不安要素を乗り越えて、そして沢山の支援者に支えられてダニエラちゃんは手術に挑みました。



左が成人の胸部、右が手術直前のダニエラちゃん。大きく膨張した心臓と肺炎のために白くなった肺が認められる。

それまでの紆余曲折は会報やブログに記載していますが、とにかく手術をするための準備が大変でした。「喘息が治癒しなければ手術は不可能」という状態です。肥大するダニエラちゃんの心臓…、一進一退を繰り返す喘息…、ついに屈指の小児喘息治療のエキスパート Dr.ガリーも参戦しました。「ここからの治療は奇跡を起こす必要があります。」こう言った彼の言葉を信じて父親のダンテが失職覚悟で長期休職を決断、空気がきれいな田舎へ移住、そこでの集中療養と…。そしてようやく手術が可能に！

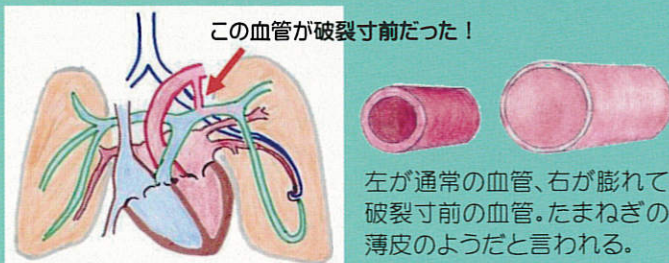
実は彼女の両親の無関心・非協力によりコントロールできない喘息に、主治医から「もう、この子は諦めるべきでは？親の無理解からの喘息で手術は出来ないわ」と言われ、このまま時間切れ(手術不能)になる可能性がある！と感じていました。

術後に執刀医が言ったことに驚きました。「**ダニエラちゃんの動脈管は膨張しすぎて破裂寸前でした。あと1週間、いや数日手術が遅れても危なかったかも知れませんが、本当にギリギリで間に合いました。**」数々の奇跡の末にたどり着いた手術の成功。しかし、最大の奇跡を起こしていたのがダニエラちゃん本人でした。

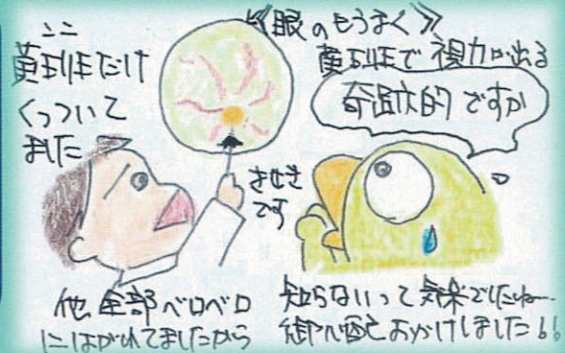


多くの支援者の皆さまのご協力と数々の奇跡が重なりました。ダニエラちゃんは今日も元気に駆け回って遊んでいます。もちろん、まだ終わったわけではありません。術後の観察は欠かせませんが、ようやくこの言葉を使うことができるようになりました。「皆さまの手が、声が、ダニエラちゃん命を救いました。彼女はこれで死の恐怖から逃れる事が出来ました。普通の子と同じように成長できます。ありがとうございました。」

ダニエラちゃんの動脈管は間一髪の薄さだった！



実は…ここにも奇跡的な強運がありました。



江里子さん応援基金のおかげで無事に治療を終えることができました。ありがとうございました。



注：詳細は別紙「ダニエラちゃん手術支援事業報告書」にあります。興味がある方はお手数ですが事務局まで連絡をお願いします。別途、郵送にてお送り致します。

You Are My



Savior !!

Good Day ☺

First of all, we would like to say thank you to the LORD because he gave you to help us for the heart operation of our beloved Daniela De Jesus.

Thank you for giving a chance to live here, may the blessing of the LORD be with you ☺

Thank You ☺

Daniela